

発刊にあたって

昨今の県内の経済情勢を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費が左右される状況が続いている一方、生産、雇用情勢などでは、持ち直しの動きが見られています。目を外に転じると、国内経済は、運輸や生活娯楽関連(宿泊・飲食・レジャーなど)などで、依然厳しい状況が続いていますが、製造業は、輸出の回復等により、比較的底堅い推移となっています。今後は、米中対立の激化等に留意が必要ですが、秋以降のコロナワクチン接種の進展による消費活動の活発化が期待されます。

ところで、「徳島県の経済と産業(2021年版)」は、地域の自然環境や社会環境、経済・産業の構造や特色、県民の暮らしなども含めて、最新のデータを織り込み、近年の徳島県の実情と変化を取りまとめたものです。徳島県の現状や特徴・特色を概観し、今後の地域や企業経営を展望するうえで参考書として、活用していただければ幸いです。

なお、今回の表紙は、昨年J2優勝を果たしJ1に復帰した徳島ヴォルティスの選手たちをイメージしてデザインしました。パワーとスピード感溢れる戦う選手たちの姿勢は、私たちに元気を与えてくれます。

最後に、この冊子の作成にあたり、何かとご協力を賜りました関係機関の皆様、心から厚くお礼申し上げます。

2021年 夏

公益財団法人 徳島経済研究所

理事長 長岡 奨